

学級経営の充実に向けた取組とその効果

主体的に考え、未来を拓く子供の育成
～学級力向上プロジェクトの取組を通して～



蕪崎市立甘利小学校

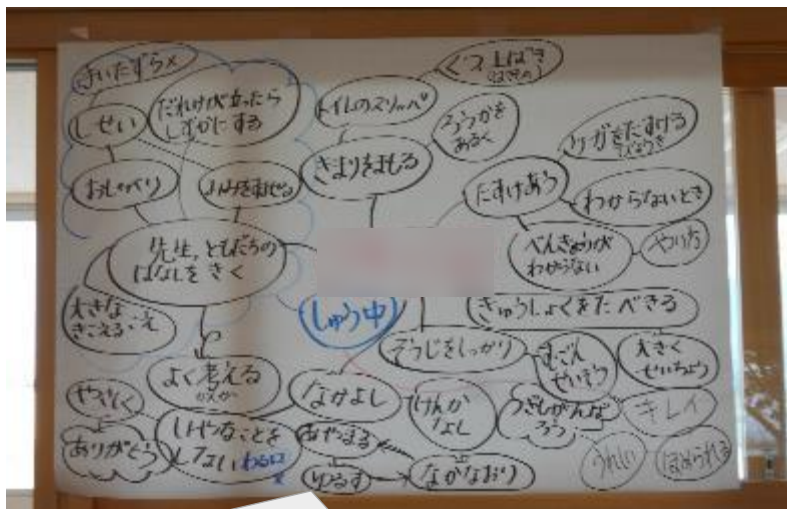
学級経営の充実に向けた取組

・学級力向上プロジェクトの手法に基づき、学校全体でR→PDCAサイクルに沿って学級経営の充実に取り組んでいる。(昨年度から)

① R (診断)	「いいクラスってどんなクラス？」をテーマに話し合う。 (イメージマップやウェビングでまとめる) ・第1回学級力アンケート(学級力の自己評価)を行い、レーダーチャートを作成する。 ・レーダーチャートを見ながら、どんな力を伸ばしたいか話し合う。 (第1回スマイルタイム)	4月
① P(計画)	・学級力を高める具体策を決める。 ・スマイルアクションの決定	
① D~C	・D:実践 ・C:振り返り・評価	
① A(改善)	・朝の会、授業中、休み時間、帰りの会などで、学級で決めた改善策(スマイルアクション)を実施する。	7月

☆学年ブロックや学校全体でクラスのレーダーチャート・実践を持ち寄り情報交換を行っている。(学期に1~2回)

具体例の紹介 ① R (Research)



いいクラスってどんなクラス？

子ども達とイメージマップをもとに話し合っ
て、クラスのめあてを決めた。



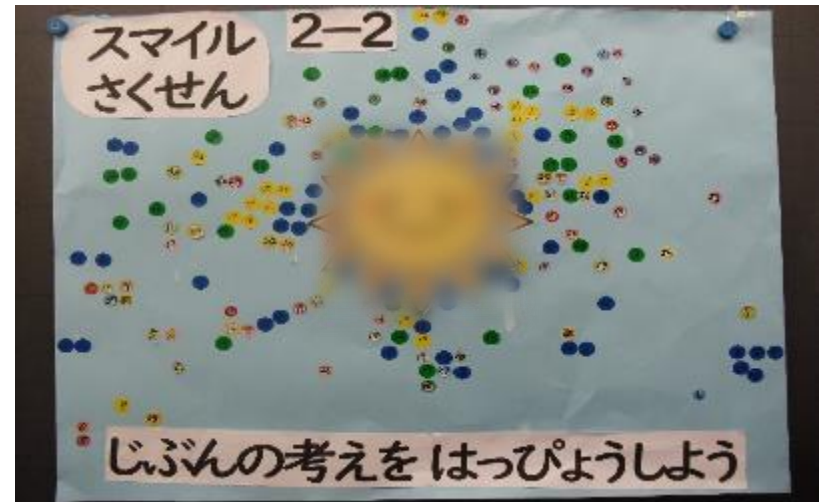
レーダーチャート
学級力アンケートの結果をもとに、ク
ラスの良い点・改善点などを話し合う。

スマイルさくせん

〈めあて〉

「自分の考えを発表しよう」

- ・模造紙にめあてを書いたものを用意する。
- ・1日の授業の中で、意見を発表しようと進んで挙手できたら帰りの会で自分の番号のシールを貼る。



たからのつぼ (ビー玉貯金)

〈めあて〉

「ろうかを走らない」

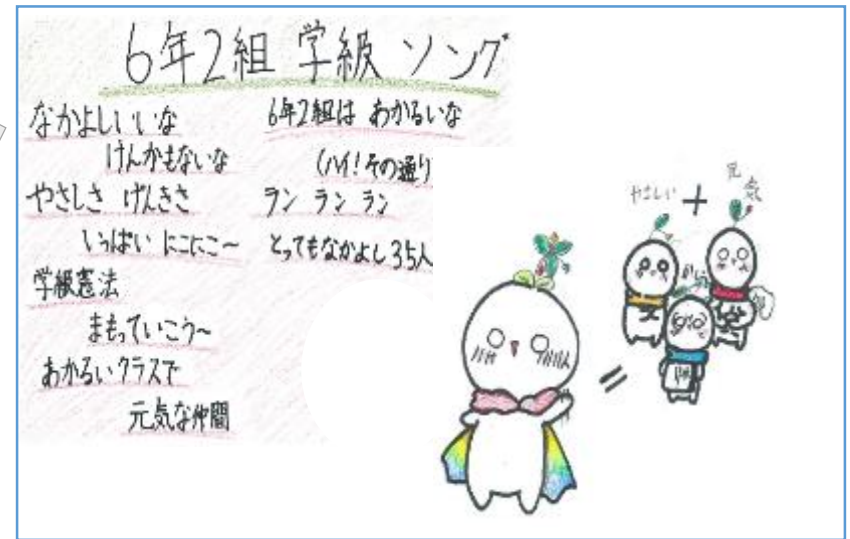
- ・帰りの会の時に守れたら「ビー玉」か「スーパーボール」を入れる。
- ・めあて以外でも、クラスで頑張ったことがあったら「たから」を入れていく。

具体例の紹介 ③ 学年のスマイルアクション

学級ソング・学級キャラクター
〈めあて〉

「クラスのよいところをさがそう」

- ・学級ソングは、1フレーズを班ごとに作った。
- ・キャラクターは、クラス全員が描いた物の中から1つ選んだ。
- ・クラスの事を考えるきっかけとなり、クラスに温かい雰囲気生まれた。



大型パズル

〈めあて〉

「人の話を最後まで聞こう」

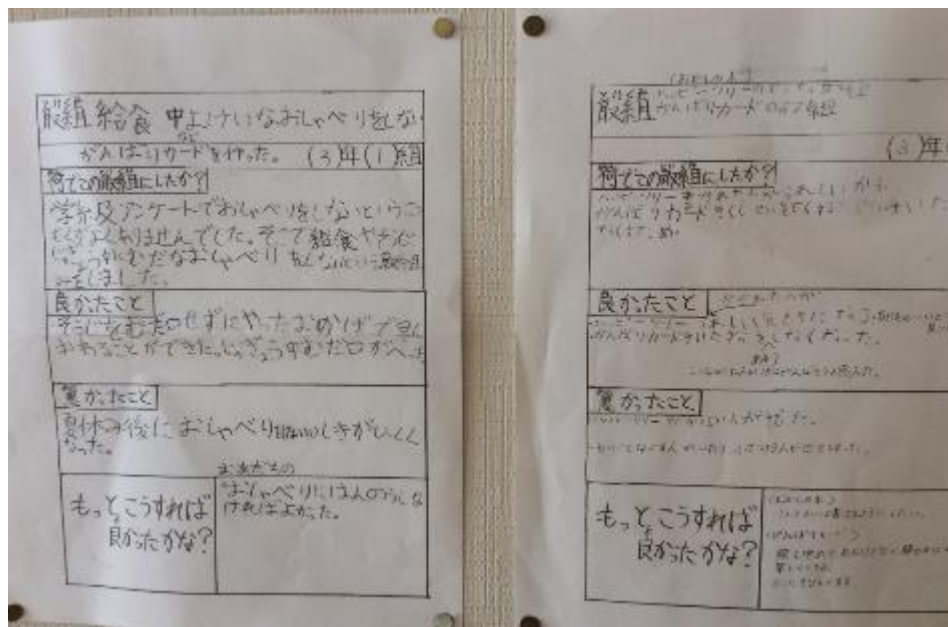
- ・クラスのマスコットキャラクターを募集した。
- ・そのキャラクターを12ピースの大型パズルにして、めあてが守れたら1ピースずつ壁に貼るようにした。

具体例の紹介 ④

児童会の取組

代表委員会で情報交換

- 各クラスで取り組んだ学級力向上プロジェクトについて良かったことや悪かったこと、改善点などを話し合い、それを代表委員会で発表し、情報交換を行った。



ランダムアクションカード



アクションカードづくり

- 代表委員会で出された取組を子ども達が絵や字を書いて新しいアクションカードとして作った。甘利小だけのオリジナルのアクションカードを増やしていきたい。

具体例の紹介 ⑤ はがき新聞の取組

はがき新聞①

- ・はがきサイズの内紙にミニ新聞形式で、子どもたちが自分の思いを綴っていくもの。
- ・学級力向上プロジェクトの自分の振り返りやクラスの様子や成果などを書いた。
- ・自分やクラスを見直す機会となる。

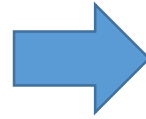


はがき新聞②

- ・低学年用のマスのできる大きい用紙もある。
- ・校外学習に行ったことや総合的な学習で調べたことなどをまとめることもできる。
- ・教室掲示することで、お互いの考えを知る機会となる。

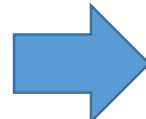
◇これから取り組む学校の参考に…

レーダーチャートで学級の実態が可視化!



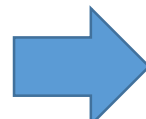
・子どもたちが学級の実態を把握しやすく、話し合いに意欲的に参加できる。

自分たちで話し合っ
て考えるスマイルアクション!



・教師からの提示より自分たちで話し合っ
て考えた実践には主体的に取り組む。ク
ラスみんなでよりよくしようという雰
囲気が高まる。アイデアがでない時は、ア
クションカードを利用する。

何度か続けると子どもたち
がマンネリ化してしまう



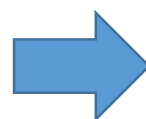
・キーワードは「楽しく」。取組に楽しさをプ
ラスするとやる気Up。クラス全体で取り組
んだり、班や個人で取り組んだりして工夫
するとよい。

できない子をせめない工
夫を!



・全員ができたら〇〇する。という考えを柔
軟にする。子ども達と話し合い、1~3人が
できない場合でも◎がつくようにしたり、
個人名を出したりしないルールを作る。

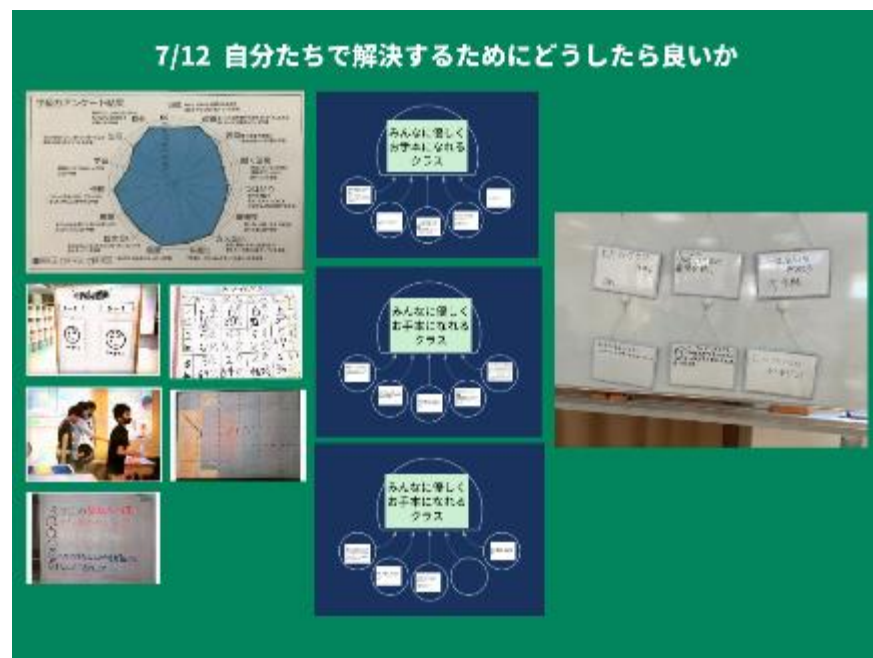
教師間で情報交換をする!
(児童同士も)



・教師(児童)同士がレーダーチャートや取
組を持ち寄り情報交換することでよりよい
実践につなげることができる。学級だけ
でなく、学年・学校の児童の様子も把握で
きる。

学級づくりをベースとした授業づくり

主体的に考え、未来を拓く子供の育成
～ 学級力向上プロジェクトの取組を通して ～



蕪崎市立甘利小学校

よりよい授業づくりに向けて 甘利小ver.

事にあたる力

知識や技能を関連付け、自分で考え
その場に合った行動ができる児童

甘利小学校の3つ
の力を具現化した
「目指す児童像」

かかわり高め合う力

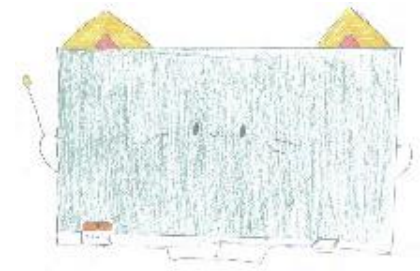
互いを尊重し合い、先を見通して
物事に粘り強く取り組む児童

考え学ぶ力

最後まで話を聞き、友だちの意見と
比較しながら自分の考えをまとめ、
言葉で表現し伝えることができる児童

よりよい授業づくりに向けて 甘利小ver.

- ・きめ細かな指導を行うために
- (1) タブレット端末を使用した授業づくり
- (2) 机間指導の充実
- (3) 習熟度に応じた問題の配信
- (4) 友だちとの意見や作品交流
- (5) レディネステストや振り返りカード等の正確な見取り
- (6) 誰にでもわかる板書の工夫
- (7) T・Tなど担任以外の先生の支援・活用
- (8) 教師の自己改善に生かす振り返り



具体例の紹介 ① ICTの活用による全員参加の授業

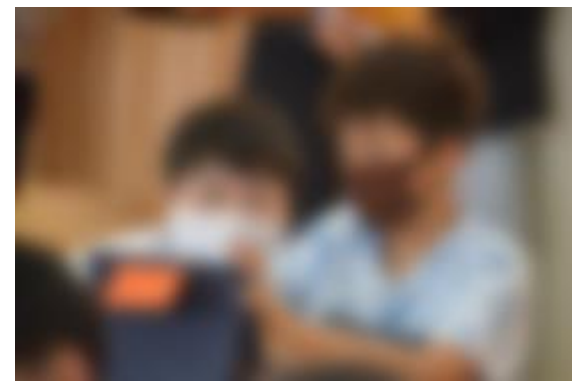
- ・ロイロノートの活用により、児童の考えを教師が把握し、また、児童間でも共有することによって様々な考え方に触れ、自分の考えをブラッシュアップできるようにする。



20 8月4日(水)		5月12日		7月12日	
戻る		課題		画面転写	
[A] 提出済		拡張共有する		印刷	
思った事をすぐに口に出しているのは、賢明だと思う	みんなに懐くにする	学級理由 人の顔を聞く 先生がいるときに静かで先生がいないときに賑やかさ。	きいさつをちゃんとする。	「お手帳になれるクラス」というのを作りたいと思う理由 お手帳のお手帳になれていないから。 7/5日(水) 14:25	じゅぎょうをちゃんと、目標口をしようしている人がいる。 7/5日(水) 14:27
お手帳になれるクラスになるには、座下を走らさない。忘れ物をしない。授業の時守れば、お手帳になれるクラスになれると思いきや。	人がおしているときや授業中、授業中に、授業のなのおぼろりしている！理由 めめてにも、出ているから出さていない！ 7/5日(水) 14:28	めまてが守れないのは、みんなの前で手を挙げるのが恥ずかしいから守れないから	人の話を最後まで聞いていない人が多い。	授業中や授業中、むだなおしやべりをしない！理由 授業中や授業中、むだなおしやべりをしている人がいるから。 7/5日(水) 14:30	きくしれいが悪い人がいる 7/5日(水) 14:30
お手帳になれるクラスになる	授業が下がっている理由 授業が下がっているのと先生の仕度が遅れている人がいる 7/5日(水) 14:30	保存、消毒を、責任を持ってやっていない人がいる。	忘れ物を無くす。	お手帳になれるクラスになるには、お手帳を大切にしない、お手帳を大切にしない！理由 お手帳を大切にしない、お手帳を大切にしない！ 7/5日(水) 14:32	人 7/5日(水) 14:32
学級、聞く姿勢を上げたいと思います。理由は、上がった下がったしているからで	黙を閉えてなかったり人が話しているけど聞いていないし喋っている人がいる 7/6日(木) 14:33	授業中に聞かない話を素直に話した方がいいと思う。理由は、みんなのせいから。 7/6日(木) 14:33	物販をして人が話している時に聞いたりしてみんなに話をして聞かしている。 7/6日(木) 14:34	授業中や授業中、むだなおしやべりをしている人がいるから。 7/6日(木) 14:34	学習、生活、役割、つながらんばつたら1年のお手帳になれる 7/6日(木) 14:35
お手帳になれるクラスになるには、お手帳を大切にしない、お手帳を大切にしない！理由 お手帳を大切にしない、お手帳を大切にしない！ 7/5日(水) 14:36	お手帳になれるクラスになるには、お手帳を大切にしない、お手帳を大切にしない！理由 お手帳を大切にしない、お手帳を大切にしない！ 7/12日(水) 14:33				

具体例の紹介 ② 机間指導の充実

- ・考える時間や話し合い活動のときに、児童の見取りをするとともに、考えが持てない児童や困っている児童に声をかけ、指導できるようにする。



具体例の紹介 ③ シンキングツールの活用

- ・自分の意見を整理すること。
→ 考え、選び、吟味する。
- ・話合いの活性化を図ること。
→ 同じシンキングツールを活用することで、
共通点や違いを感じ取りやすく、議論がし
やすい状況をつくる。



思考を外化し、可視化して、自分にとっても相手にとっても情報を整理し、話合いに向かう。

・ICTの活用

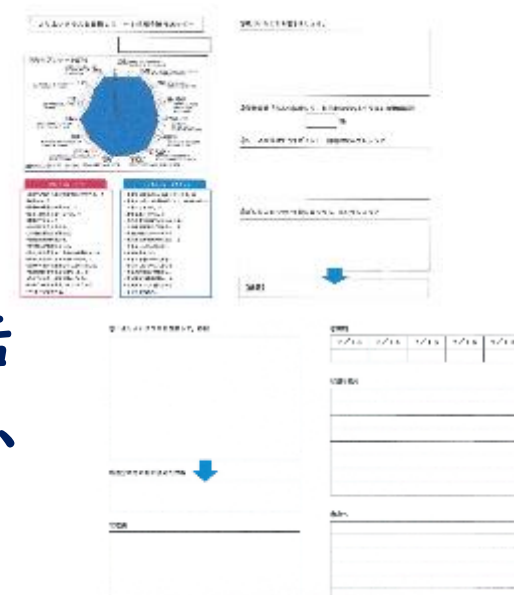
ICTとは

『Information and Communication Technology』

→ 『IT』 + 『C (Communication)』

・取組を通したワークシートの活用

→ 取組を決める過程で考えたことや取組状況、振り返りまでが一体になっているワークシートを活用することで、子どもたちも考えが整理しやすく、教師も見取りがしやすい。



・一人で整理することとみんなで整理すること

→ シンキングツールを個人でまとめさせるのか、班でまとめさせるのか、その活動が意思決定なのか、合意形成なのかという点について整理してから取り組ませるとよい。

第1学年 学級活動（3）学習指導案

蕪崎市立甘利小学校

1 題材名 「運動会でパワーアップ！！」

学級活動（3）－ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材設定の理由

運動会という行事に向けてなりたい自分を見定め、自分が取り組んでいくことを意思決定することにより、希望や目標をもって生きようとする態度が育成されると考え、本題材を設定した。

これまでに児童は、学級やグループで相談して学習や生活のめあてを立てて振り返ったり、家庭で夏休みのめあてを立てて振り返ったりする活動をしてきた。本題材を通して、自分の目標を意思決定し、実践していくことで、初めての大きな全校行事である運動会に、自分なりに一生懸命に臨み、自己の成長につなげるとともに、自己肯定感を育みたい。また、運動会までの活動の中で、友達のよいところを見つけることで自分との違いや自分のよさにも気付くきっかけとし、他者から評価されることで、自分のよさや意欲を伸ばしていこうとする意欲を高めたい。

さらに、児童は今まで異学年との交流の機会が少なく、上級生の活動する様子を目にすることがほとんど無かった。運動会を通して、上級生の活動に対する姿勢を間近で見ることで、努力することの大切さを理解するとともに、上級生への憧れの気持ちを芽生えさせたり、学年が上がっていくこれからの自分の成長への希望をもたせたりしたい。一人一人の取り組む内容は違っていても、なりたい自分を目指して努力する仲間と共に、励まし合って実践を積み重ねていくことを期待したい。

3 校内研究との関わり

(1) 令和4年度研究主題及び副主題

『主体的に考え、未来を拓く子供の育成 ～学級力向上プロジェクトの取組を通して～』

(2) 「学級力向上プロジェクト」について

本事業のアドバイザーである早稲田大学教職大学院の田中博之教授のご指導のもと、推進校において少人数教育のよさを生かしたきめ細かな指導を実現するため、「学級力向上プロジェクト」に取り組んだ。「R-PDCA サイクル」を基に、児童が主体となって自身の学級について考え、学級力を高めるため、学級力アンケートで自分たちの学級を自己評価し、日々の学習や生活の中で実践的に仲間づくりをしていく取組である。

① アンケートについて

第1回目の「学級力向上プロジェクト」のアンケートを7月に実施した。アンケートの結果を見ると、「かかり」と「なかよし」の項目が高かった。一方で、「きまり」、「きくしせい」、「おしゃべり」の項目が他の項目と比べると低かった。このレーダーチャートの結果を2学期に提示して学級全体で確認した。レーダーチャートは、高い項目と低い項目について視覚的に理解しやすく、児童たちも学級のアンケート結果を理解することができた。結果に対して「これからどうしていく必要がある

か」と問いかけたところ、特に「きまり」の項目について取組を行いたいという意見が出た。きまりを全員が守れたら星のイラストを2個、守れない人が3人までなら1個を貯めていくことが決定し、「星チャレンジ」という取組を行った。



② 学級目標を生かした学級づくり

5月に「どのような学級にしたいのか」について、意見を出し合い、模造紙にまとめた。自分がどんな学級だったら安心するのかを1年生なりに考えている様子だった。1学期の終わりには、5月にまとめた模造紙を見ながら「〇組の頑張ったところ、良くなったと思うところ」について意見を出し合った。自分自身の頑張りだけでなく、学級の友達が頑張ったこと、学級の多くの人ができるようになってきたことを意識して発言することができた児童もいた。

4 少人数学級を生かしたきめ細かな指導について

(1) 個に応じた指導・支援

少人数学級では、より児童一人一人に目が行き届くようになる。授業では、特に机間指導に力を入れ、見通しがもてなかったり、難しさを感じていたりする児童に寄り添って声を掛けるといった、その子の特性に合わせた指導を実践した。

思考ツールの使用、カードの分類・整理を端末上で行うことにより、児童同士の意見の交換、カードのまとめ直しや考え直しが容易にできるようにする。また、クラウドに保存することで、児童が事前事後の活動について見直しできるようにする。カメラ機能も利用し、教師が大型テレビに写真を映し出したり、児童がキャリア・パスポートを写真に撮ってロイロノートに保存したりするなど授業の適切な場面で活用する。

加えて、本題材では理解度や達成度などに応じた課題解決の方法や教材・教具を選択できるようにした。記述が得意な児童にはタッチペンや指を使用して自由記述させ、記述が苦手な児童には予めカードを作成しておいてカードを並び替えることで思考を整理できるよう配慮するなど、児童に応じた課題解決の方法を提示した。

少人数ポイント
個に応じた指導・支援

(2) 丁寧なフィードバック

運動会の練習中、一人一人の活動の様子を観察し、児童のワークシートに対して具体的なコメントを添える。それにより、児童が自分では気付かなかった頑張りに気付くことができるようにする。また、ワークシートに書かれた内容について学級全体に紹介し、児童から多様な考えを引き出すとともに、さらに深めるために教師が一人一人の考えを認め、称賛する。

少人数ポイント
丁寧なフィードバック

(3) 一人一人に出番をつくる

少人数学級では、多くの児童に体験や発表の機会を保障することができる。自分の意見が全体で取り上げられる機会も多くなることで、学級の一員であるという所属感や自覚をもつことに繋がり、授業の内容について、自分事として捉え考えようとする態度を育むことができている。

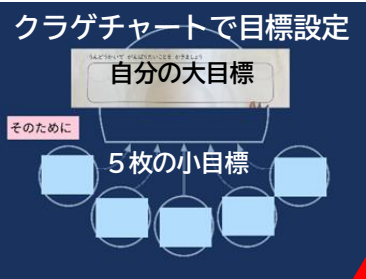


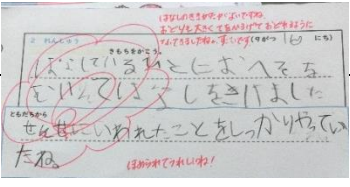
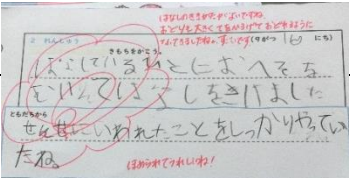
自信をもって自分の考えを発表するために、ペアで互いの意見を伝え合う学習を取り入れる。また、児童が客観的に考えを見いだすためにも、互いの意見を共有できるような機会をつくり、他者の意見も踏まえて、意思決定できるようにする。個々の児童の活躍の場を多く設定する。

少人数ポイント
一人一人に出番をつくる

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
希望や目標をもつことの意義を理解し、自己実現に向けての行動の仕方を身に付け、今後も実践していこうとしている。	取組の様子を思い出して、自分なりに評価し、自分のよさや課題について気付いている。	現在及び将来にわたってよりよく生活するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して、自分の目標を達成すべく進んで行動しようとしている。

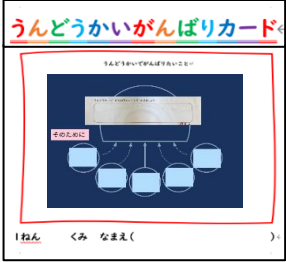

6 事前の指導

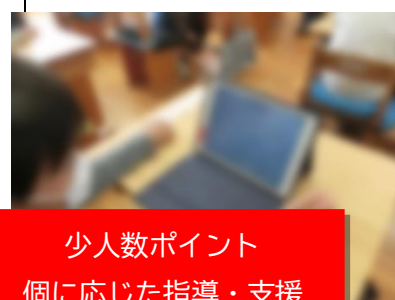
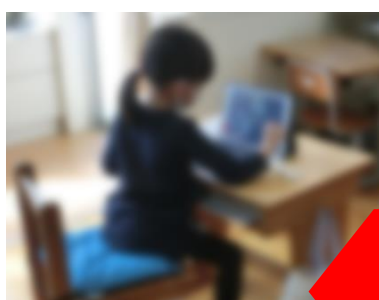
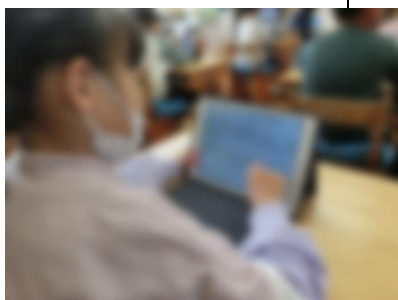
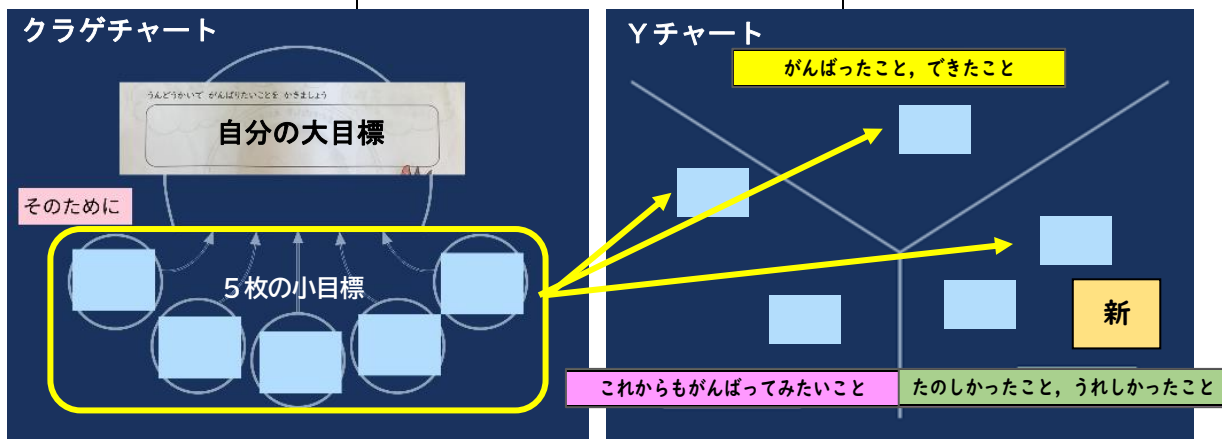
	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1	<p>○運動会に向けて、個人の目標を設定する。</p> <p>○個人目標をキャリア・パスポートに記入させる。</p> <p>○キャリア・パスポートを踏まえて「うんどうかいがんばりカード」を記入させる。</p>	<p>・学校全体の運動会のめあてを踏まえて、どんな運動会にしたいか意見を出し合う。</p> 	<p>◎運動会への意識を高めるとともに、互いのよさを認め合いながら、自分の目標を達成するべく、取り組もうとしている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)【ワークシート】</p>
2	<p>○学級や個人への目標に基づいて毎日の取組を自己評価したり、練習中の感想を書いたりする。</p> <p>○友達への励ましの言葉を「うんどうかいがんばりカード」に記入する。</p>	<p>・教師も児童一人一人の頑張りを紹介したり、「うんどうかいがんばりカード」にコメントを添えたりする。</p> <p>・上級生の様子についても目を向けられるように、写真などを活用しながら紹介する。</p> <p>・自他のよさを認め合えるようにする。</p>	 
3	○運動会当日	<p>・自分の立てた目標の達成に向けて取り組ませる。</p>	
4	<p>○「うんどうかいがんばりカード」には、意思決定から振り返りまでをまとめる。</p> <p>○友達、教師、保護者からコメントをもらう。</p>	<p>・運動会練習も含めた全体を振り返り、次の成長へと繋がられるようにする。</p> <p>・コメントをもらうことで、自己肯定感を醸成できるようにする。</p>	

少人数ポイント
個に応じた指導・支援
机間指導で考えを引き出す

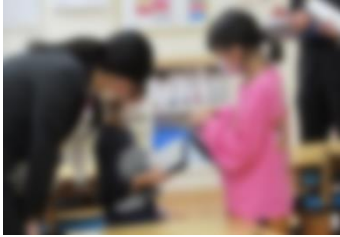
少人数ポイント
丁寧なフィードバック
ワークシートの充実したコメント

7 本時の授業

	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
導入	1 本時のねらいを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会当日、運動会までの事前の活動を振り返りながら、本時のねらいを確認する。 	
	2 アンケートと「うんどうかいがんばりカード」を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を提示し、どのくらいの人がめあてを守れたのか視覚的に提示にする。 ・「うんどうかいがんばりカード」を使って、運動会練習中から本番までの様子を確認する。 	
展開	3 Yチャートを使って、自分自身を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で振り返らせる。 ・クラゲチャートにある小目標の5枚の青いカードを、Yチャートの3項目に分けさせる。 ・5枚のカードを分類し終えた児童は、新たにカードを作成して追加してもよいことを伝える。 	◎運動会当日、運動会までの事前活動の様子を思い出して、自分なりに評価している。 (思考・判断・表現) 【観察・ロイロノート】



少人数ポイント
個に応じた指導・支援
課題解決の方法を選択

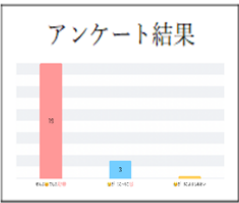
<p>4 ペアを作り、カードを分けた理由を伝え合う。</p> 	<p>・ Yチャートと基本文型をもとに、「私は〇〇に、△△のカードを置きました。どうしてかという」というように、分類した理由も含めて発表するように伝える。</p>	<p>◎自分の思いを友達に伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)【観察】</p> <p style="background-color: #90EE90; padding: 5px; text-align: center;"> 少人数ポイント 一人一人に出番をつくる 発表の頻度が増加 </p>															
<p>(話型)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">わたしは ぼくは</td> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 2px;">がんばったこと, できたこと</div> <div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">たのしかったこと, うれしかったこと</div> <div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">これからがんばってみたいこと</div> </td> <td style="width: 10%; padding: 5px;">に</td> <td style="width: 15%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">あおいカードに かいてあること</div> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">をおきました。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">どうしてかというと</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%;"></td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">だからです。</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center; padding: 5px;">(あおいカードを おいたりゆう)</td> </tr> </table>			わたしは ぼくは	<div style="background-color: yellow; padding: 2px;">がんばったこと, できたこと</div> <div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">たのしかったこと, うれしかったこと</div> <div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">これからがんばってみたいこと</div>	に	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">あおいカードに かいてあること</div>	をおきました。	どうしてかというと			だからです。		(あおいカードを おいたりゆう)				
わたしは ぼくは	<div style="background-color: yellow; padding: 2px;">がんばったこと, できたこと</div> <div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">たのしかったこと, うれしかったこと</div> <div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">これからがんばってみたいこと</div>	に	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">あおいカードに かいてあること</div>	をおきました。													
どうしてかというと			だからです。														
(あおいカードを おいたりゆう)																	
<p>終末</p> <p>5 ペアで伝え合ったことを全体で発表する。</p>	<p>・ ペアで話した時と同様に分類した理由も含めて発表する。 ・ 本授業やこれまでの活動について賞賛するとともに、今後の活動意欲を高めることができるように助言する。</p>	<p>◎自分の思いを伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)【発言】</p>															

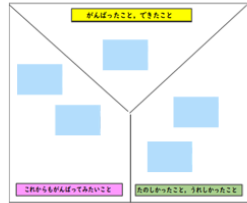
8 板書計画

うんどうかいをふりかえろう

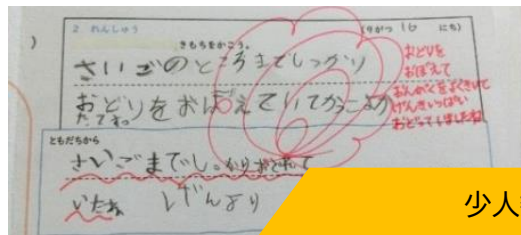
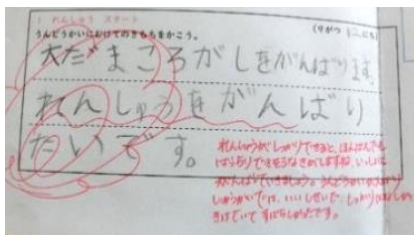
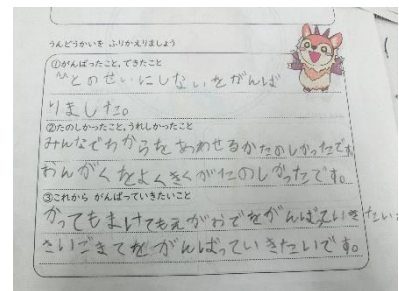
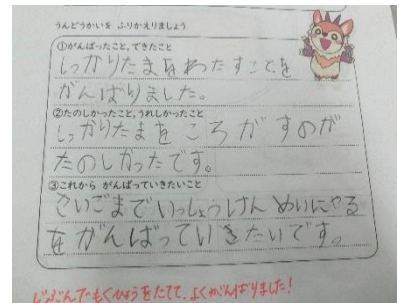
- 1 カードとアンケートのかくにん
- 2 3つにわけ
- 3 ペアではなす
- 4 みんなではなす
- 5 まとめ

アンケート結果



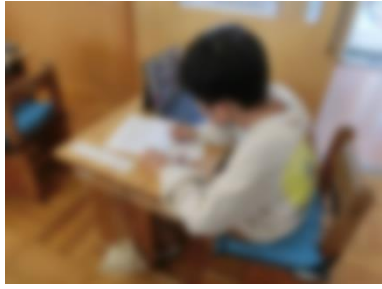


わたしは ぼくは	<div style="background-color: yellow; padding: 2px;">がんばったこと, できたこと</div> <div style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">たのしかったこと, うれしかったこと</div> <div style="background-color: #FFB6C1; padding: 2px;">これからがんばってみたいこと</div>	に	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">あおいカードに かいてあること</div>	をおきました。
どうしてかというと			だからです。	
(あおいカードを おいたりゆう)				

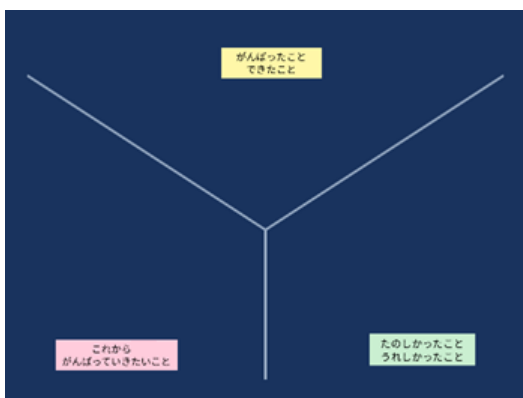
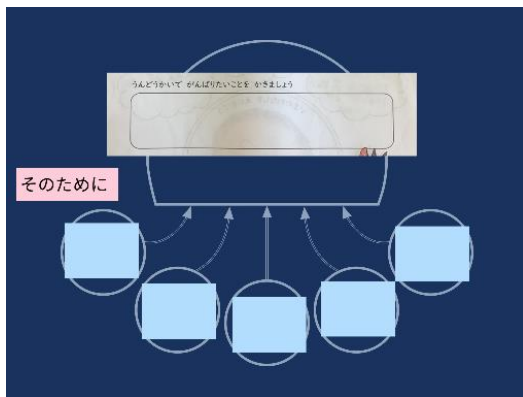



少人数ポイント
 丁寧なフィードバック
 ワークシートへの充実したコメント

9 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>○Yチャートでまとめたことを振り返りながら、キャリア・パスポートにまとめ直す。</p> <p>○実践したことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・パスポートと対応させ、キャリア・パスポート記入時に考えを再構築、内省できるようにする。 ・朝の会や帰りの会などを利用して、友達同士でお互いの頑張りを励まし合うことにより、認め合うことの継続を図るようにする。 ・校外学習でも、授業を通してもっと頑張りたいと思ったことを意識したり、自分なりにめあてを立てたりして参加できるようにする。 	<p>◎今回の取組や行動を振り返りながら、目標をもつことの大切さを感じるとともに、今後も自己実現に向けて行動しようとしている。</p> <p>(知識・技能)</p> <p>【ワークシート・発言】</p> 

10 ワークシート・思考ツール等



うんどうかい	1ねん くみ ばん
うんどうかいの めあてを かきましよう	
うんどうかいで がんばりたいことを かきましよう	
うんどうかいを ふりかえりましよう	
①がんばったこと, できたこと	
②たのしかったこと, うれしかったこと	
③これから がんばっていきたいこと	

1 1 成果と課題

【成果】

- 1年生なりに自分の目標を決定することにより、運動会に向けて意欲的に取り組むことができたり、目標を意識して一生懸命に頑張ろうとしたりする姿が見られた。
- 1年生でもシンキングツールを使って考えをまとめることができた。クラゲチャートを使用することで、目標に対して具体的な手立てを考えることができ、日々の運動会練習の中で実践しようとする気持ちが持てた。
- ポートフォリオの作成により、毎日のめあての振り返り、感想、友達・教師・保護者からのコメントを1枚に残すことができ、振り返りを行う際に容易に見直すことができた。
- 毎日の練習の状況を振り返ることにより、今日はここができなかったから明日はこうしてみようなどと自分がやるべきことを意識して運動会練習に臨むことができた。時々、感想を記入することで自分の様子をより振り返る良い機会となった。また、友達や上級生等の様子についても触れて感想を書くことを助言したため、自分達の競技や演技だけではなく周囲の様子についても興味を持つことができた。
- 友達から応援コメントを書いてもらうことで児童のやる気に繋がった。また、友達への応援コメントを書くために友達の良いところを見つけようとする姿も見られた。
- キャリア・パスポートと関連させて目標の設定や振り返りを行うことで、キャリア・パスポートの記入をスムーズに行えた。

【課題】

- △話型を示すことで発表がしやすい部分もあったが、児童自身の言葉で話し合うように設定する方が様々な意見が出て良かった。
- △書くことが苦手な児童が多くいたため小目標の青いカードを使用し、Yチャートで振り返りをしたが、本番を終えての気持ちとは異なる部分が出てきてしまった。ほとんどの児童が項目に合った新しいカードを作成することができ、初めに作成した小目標を使用する必要が無かった。
- △小目標のカードは、前時等で別の振り返り方をすれば良かった。
- △毎日行わない種目や目標に対して毎日振り返りが行いにくいものもあったため、目標設定を慎重に行う必要があった。

